

教科	家庭科	学年	第3学年	担当者	星 琢磨
----	-----	----	------	-----	------

【教科目標】

生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

【使用教科書・教材等】

東京書籍『新編 新しい技術・家庭 家庭分野』
ノート プリント

【学習計画】

学期	単 元 名	学 習 の ね ら い (身につけたい力)	準備物
1 学 期	家庭と家族関係 ・家庭や家族の機能や地域とのかかわりを考えよう ・家族関係をよりよくしていこう 幼児の生活と家族 ・幼いころを振り返ろう ・幼児の心身の発達と生活を考えよう 【調理実習】 ・幼児の生活と遊びを知ろう	○家庭や家族の基本的な機能を知り、よりよい家族関係をつくるために、家族の一員としてできることを具体的に考えることができる。 ○家庭生活が地域の人々とのつながりのなかで成り立っていることが理解できる。 ○幼児期を振り返って、自分の成長を多くの人が支えてきてくれたことを知る。 ○幼児期の心と体の発達の特徴、生理的機能・運動機能の特徴を知る。 ○ことばや生活習慣の形成には周囲の援助が大切であることが理解できる。 ○発達には個人差があることを理解する。 ○幼児にとっての遊びは、心身の発達に大きくかかわり、遊びによって育つ能力が多々あることを知る。	教科書 ノート プリント ワーク エプロン 三角巾 マスク
2 学 期	・遊び道具をつくってみよう 【遊具製作実習】 ・幼児とふれ合おう 【保育実習】	○おもちゃの製作を通して、幼児の発達についての理解を深める。 ○幼児の成長を考えたおもちゃを製作することができる。 ○幼児の遊びや生活に関心を持ち、課題をもって幼児の生活に役立つものを工夫し、計画を立ててつくることができる。 ○幼児に関わる仕事を知り、幼児にあった接し方や遊び方が工夫できる。	教科書 ノート 折り紙 はさみ のり 等
3 学 期	わたしたちの消費生活 環境に配慮した消費生活 ・生活と環境の関わりについて考えよう	○環境や資源に配慮した生活をするための課題を知り、その解決に向けた実践的な態度を身に付ける。 ○循環型社会、省エネルギー、ゴミの減量化に関心を持ち、自分ができることを工夫して行える。	教科書 ノート プリント

【評価の観点と評価の方法】 (通知表のつけ方)

評価の観点	生活や技術への 関心・意欲・態度25%	生活を工夫し創造する能力 25 %	生活の技能 25%	生活や技術についての知識・理解 25%
評価の観点の趣旨	授業への態度・意欲や提出物の内容等、よりよい高い目標を設定して努力しているかどうかをみる。	今の生活を振り返り課題を見つけ、その課題を解決しようと考えているか。よりよい方法を積極的に考えているか。	学習したことに基づき、適切に判断し実践しているかどうかをみる。	学習の内容を整理し、定着しているかどうかをみる。
評価の方法	授業の準備 発表、姿勢等、授業態度、提出物状況 など授業の様子 等	授業の様子 提出物 等	授業の準備 実習の様子 提出物 等	定期テスト 提出物 等

【授業の受け方・学習のポイント】 (担当の先生からのアドバイス)

- ・教科書・ノート・準備物をしっかりと準備して授業に参加しましょう。
- ・話を静かに聞く、姿勢、集中して授業を受けましょう。
- ・ノートをしっかりと書きましょう。(黒板に書いてあること。人の発言や先生の説明をメモするなどノートの書き方を工夫する。)
- ・質問や考えたこと、疑問点を積極的に発表して授業内容の理解を深めましょう。
- ・プリントやレポート、作品の提出期限を守り、しっかりと提出しましょう。
- ・実習に根気よく、丁寧に望む。(基本的な技能を身につけて、工夫した作品が完成できるようにしましょう。)
- ・実習道具を正しく使い、安全に気をつけて協力し合い取り組みましょう。
- ・ワークや教科書を丁寧に扱い、なくさないようにしましょう。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】 (担当の先生からのアドバイス)

- ・実際に授業で学んだことを生かして、普段から家庭生活の中でお手伝い等しながら体験的に学習の理解を深めていきましょう。
- ・社会で起こる家庭や家族に関わる出来事について関心を持ち、それらについて自分の考えをまとめ、授業についてより理解を深め、よりよい生活ができる知識を身につけましょう。